



熊本県立熊本農業高等学校
生徒会

南窓

2021 第35号

「南窓」発刊に寄せて

熊本県立熊本農業高等学校長 古田 陽一

生徒活動誌「南窓」は、今年度からデジタルデータと冊子の2本立てで作成されることになりました。発刊に当たり令和2年度の熊農生の活動を振り返ってみるとコロナウイルス感染症に振り回され、すべての活動が影響を受けました。高校総体をはじめとする各種競技大会や研究発表大会、体育大会などが中止を余儀なくされ、南園祭は縮小した内容となりました。生徒の皆さんにとっては、活動成果の発表の場を奪われましたが、精神的に折れることなく学校生活を大切にし、次の活躍の場を見つけるべく日々研鑽を怠らない姿に感銘を受けました。さすが熊農生。3年生をリーダーとして今までにない工夫や新たな視点でアイデアを出して、様々な行事に取り組んでくれました。また、先輩の姿を見てリーダー性を磨こうとする後輩の姿勢に熊農の伝統を感じました。今年度の経験は、今後の社会生活に必ず役立つので

よう。

結びに、コロナ禍の一年を熊農で共に学び、過ごした生徒の皆さんに次のことをお願いします。「自分の長所を伸ばし、その長所で仲間を助けること」と、「言葉で仲間を励まし、感謝と褒めの言葉も忘れない」の二つを実践してください。これから多くの人と出会いが待っています。必ず良い結果に繋がると思っています。仲間と共に貴重な高校生活を送ったことを糧とするとともに、新たな視点で物事を考えることの大切さを経験した生徒諸君の今後の発展を祈念します。

目次

巻頭の言葉

新旧生徒会 農業クラブ 家庭クラブ 挨拶

クラス紹介 全クラス

3年生一言メッセージ

南園祭 (1・2年生)

各部活動紹介

編集後記

旧生徒会長 「生徒会会長を終えて」

農業経済科 三年 梨田 愛斗

私は一年次から生徒会副会長として学校行事の企画運営に携わってきました。その時に前生徒会会長の倉岡夏花会長の下で、会長としての在り方や、企画運営の仕方など様々なことを学ばせていただきました。この経験を元に今年一年間、生徒会会長として活動してきました。

この一年間は変化を求められる年だったと感じています。新型コロナウイルスによる影響で長期の休校があったり、感染症拡大防止のために学校行事が中止になったりと、前年度では考えられなかったことが次々と起こりました。ですが私はこのコロナ禍の中でも、うまく変化に対応していきながら新たなことにチャレンジしてきたと思います。例えば、中止になった学校行事を、感染予防を徹底した上で別の形で開催したり、スマートフォンの利用緩和を行ったり、校則の変化をしたりと様々な事にチャレンジしてきました。

来年度の生徒会会長中村玲央は、私以上にチャレンジ精神を持ち合わせているので、今年度以上の良い変化を期待しています。そして、会長を支える、副会長や役員みんなが一致団結してよりよい熊農を作ってくれと信じています。

新生徒会長 「来年度の抱負」

園芸果樹科 二年 中村 玲央

来年度、生徒会会長を務めさせていただきます。二年園芸果樹科の中村玲央です。

今年度は良い変化も悪い変化もありました。良い変化は生徒総会です。スマホの使用は先生が許可を下した場合や、送迎場所付近で保護者と連絡する場合に使えるようにされました。他にもリュックサック登校が出来るようになりました。この体験で、皆さんの意見をまとめ、形にすることはとても難しいことを実感しました。

悪い変化は「新型コロナウイルス」の影響です。特に南園祭は規模縮小で、体育大会やスポーツフェスティバル等は中止になりました。梨田会長や時田副会長を筆頭に生徒会全員で頑張ってきました。そんな先輩達をとっても尊敬しています。そして私も尊敬される生徒会長になれるように頑張ります。

来年度は今年度より「新型コロナウイルス」の影響を受けるかもしれない。しかし私は先日の演説で言った「熊農をもっと明るく、もっと楽しく」をモットーに今年度出来なかった体育大会やクラスマッチ等のイベントが出来るように。また盛り上がることを一番に考え、実行していきます。うまくいかない点もあるとおもいますが、ですが何事も全力で挑みます。一年間よろしくお願いします。

旧農業クラブ会長「感謝と期待」

農業経済科 三年 松本 仁

私は一年時から農業クラブ副会長として校内外イベントの企画・運営を行ってきました。先輩方や先生方から支えていただき、大きく成長することができました。また、当時の会長が行事を運営する姿や農業鑑定で最優秀賞を受賞し、全国で活躍されている姿から私も会長のように活躍したいと思い、次年度の計画を立てていました。

しかし、多くの行事やイベントが中止となり、悔しい思いをしました。役員にも十分に活動させる機会を設けることができず申し訳ないと思っています。このように活動が少ないなかでも全力で活動に取り組んでくれた役員の人々にはとても感謝しています。

一、二年生は実際に農業クラブの活動を経験することができなかったため、行事の運営に苦労すると思います。加えて、令和五年度には熊本で農業クラブ全国大会が開催されます。そのため、今年から熊農に実行委員会の本部が置かれ、大会開催に向けて動き出します。今年により、一層大変な年になりますが、次期会長になら乗り越えてくれると期待しています。優秀で私以上の「農力」を備える会長と昨年農業鑑定競技で優秀な成績を修めた一、二年生がいる今年の農業クラブは、熊農の名を全国に轟かせてくれると信じています。

新農業クラブ会長「新たな農クを」

食品工業科 二年 本郷 ここみ

私は、一人一人の意見に耳を傾け、熊農生が楽しく農業と向き合うことのできる農業クラブを築きたいと考えています。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、多くのイベントが中止となり、収穫感謝祭や南園祭は規模を縮小しての開催でした。来年度も、例年通りにはいかない部分もあるかもしれませんが、アンケートを実施するなど、熊農生の声が届くよう努力します。また、一年次からの農業クラブ役員やプロジェクト活動の経験を活かして、農業クラブ活動を活発にしていきたいです。プロジェクト活動では、商品開発など、新しいことに挑戦でき、とても充実しています。また、多くの熊農生が、プロジェクト活動や農業鑑定競技で活躍しています。このような熊農生の活躍を多くの方々に知っていただけるように、農業クラブ活動について発信できる機会を増やし、SNSやイベントなどを活用し、熊農の魅力を発信していきます。

私は、農業クラブ会長とプロジェクト活動を両立し、それぞれが中途半端で終わらないよう、一つ一つ全力で取り組んでいきたいです。まだまだ、力不足の私ですが、精一杯頑張りますので、よろしく願います。

旧家庭クラブ会長「家庭クラブ会長を務めて」

生活科 三年 小田 梨々華

今年度の家庭クラブは一年生四名、二年生七名、三年生十名で構成され、先生方のご指導の下、仲間と協力することを目標に活動してきました。

私が会長を引き継ぎ、集会での家庭クラブ活動の報告やみんなをまとめることに苦労しましたが、三年間家庭クラブに所属していたことで多くのことを学び、様々な体験をすることができました。これまでの主な活動は、F H J だよりの発行や他学科との交流活動であるお菓子作り講習会、南園祭でのバザー、こども食堂でのボランティアなどです。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの活動はできませんでしたが、SDGsの研究活動を行って家庭クラブ連盟の研究発表大会で報告をしました。限られた範囲内で一人ひとりが自主的に、それぞれの役割を果たし活動することができたと思います。私が会長という仕事をやり遂げることができたのは、同級生や後輩の支えがあったからだと感謝しています。新体制でも頑張ってほしいです。

新家庭クラブ会長

生活科 二年 村上 仁菜

私は、一年間家庭クラブ副会長として活動を行ってきました。特に今年は、SDGsについての研究を行いました。その中で、熊本県内の人参農家を訪問して、食品廃棄の現状を知ることができました。また、新型コロナウイルス感染症予防のためのマスクを製作して、地域の子どもたちに配布しました。私たちが手作りのマスクを気に入ってもらうことができてよかったです。これらの活動を熊本県高等学校家庭クラブ連盟の研究発表大会で報告を行いました。私たちの活動が認められ、優秀賞をいただくことができてとても嬉しかったです。

今後も、子ども食堂での交流やSDGsの普及活動を継続していきたいです。また、周囲の人々のストレスを軽減し、自宅で快適に過ごすためのグッズを製作していきたいと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大がしんこうしている今だからこそ、地域の方々との交流を深めて、だれもが毎日を楽しく過ごせるような活動を新家庭クラブ役員で頑張っていきたいです。

令和2年度「くまおにの日122」「くまべんの日122」

活動報告

文化委員会

- 1 「くまおにの日122」「くまべんの日122」の目的
自分や家族が生産した農作物を使い、工夫にあふれた料理で表現することで、食べ物に関して興味をより深め、優しい心遣いや思いやりの心を持つ。また、自分の食事に関心を持ち“食べる”ことの重要性を実感する機会とするだけでなく、クラスメイト同士お互いの料理を見ることを通してクラスで交流し、コミュニケーションの場とする。
- 2 期日
 - (1) 「くまおにの日」 令和2年 7月21日(火) 12:50～13:30
 - (2) 「くまべんの日」 令和2年10月 8日(木) 12:50～13:30
- 3 実施場所 各ホームルームや前庭などで写真撮影・会食をする。
- 4 参加者 全校生徒および担任・副担任並びに全職員
- 5 活動の流れ
 - (1) 文化委員打ち合わせ 7月17日(金)
 - (2) 1年生へ事前プレゼンテーション7月20日(月) SHR
各科の3年→1年へ
「文化委員会だより」の掲示・配布
 - (3) 「くまおにの日」実施 7月21日(火)
アンケート集約 同日放課後
 - (4) PTA研修会でのプレゼンテーション 9月18日(金)
 - (5) 「くまべんの日」事前案内放送 10月6日(月) 一斉校内放送
- 6 「くまべんの日」前日の熊農メール
「くまべんの日」実施10月8日(木)、写真配布・アンケート

ト集約9日(金)

- (7) 南園祭での文化委員会報告および展示 11月7日(土)
 - (8) 熊農紀要での報告 3月
- 6 活動の様子

「くまおにの日」(熊農おにぎりの日)

取り組み 7月 【step1】

自分で「おにぎり」を作り持参する。昼食時にはおにぎりを集めてクラスで写真撮影をする。

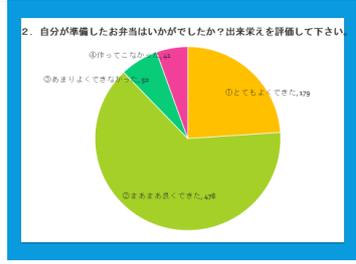
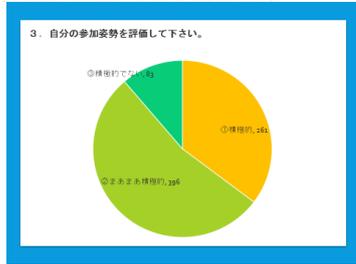


イメージキャラクター (スマイリ)

「くまべんの日」(熊農べんとうの日)

取り組み 10月 【step2】

自分や家族が生産した食材をなるべく使い弁当を作り持参する。お弁当は一人ずつ写真撮影する。



7 今年度の活動を振り返って

(1) 生徒の活動について

アンケート結果から、ほとんどの生徒が「くまおに」「くまべん」の活動を楽しんで参加してくれたようだ。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、撮影時は必ずマスクを着用しておくこと、会食時はなるべく前を向いて、といった注意を守りながら、今年度も実施した。「心配だったが、案外簡単だった。クラスのみんな一つひとつのお弁当がとても上手にできていたので、すごいと思った。」と、友人や先生方の作品に刺激を受け、「来年はもっとみんなを驚かせたい」と意欲を高めた生徒もいたようだ。この活動を通して日ごろ自分や家族のために弁当を作ってくれる人への感謝の気持ちを強く抱くことができたようである。今後は「楽しくなかった」「作ってこなかった」という生徒の対応などを文化委員とともに検討していきたい。

TABLE FOR TWO

International主催の「おにぎりアクション」にも参加した。おにぎりの写真一枚を専用のサイトに投稿すると、海外の子ども達に給食五食が届けられるという活動で、今年度は各クラスで撮影していただけいた写真を九十枚投稿し、充実感のある活動となった。

(2) 文化委員会の生徒の活動について

文化委員長を中心に校内放送や全校生徒・職員に文化委員会だよりやプリントを配布して活動を意識づけた。文化委員がしつかり呼びかけ、クラスメイトや先生がとの協力もあり、スムーズに進んだ。大変感謝したい。

また、学校全体が笑顔となり、食や農、周囲に感謝の気持ちを持ってこの活動を今後も継続して行いたいと考えている。



農業科

「農業科の友達」

農業科 一年 三善 広志朗

私たちのクラスは、男子三十五人、女子五人の四十人のクラスです。

私たちは新型コロナウイルスの影響もあり、みんなと出会うまで、二か月遅くなりました。最初はとても静かで、自分から話しかけることありませんでした。しかし、毎日の授業などを受けている中で、少しずつ話すようになりました。今まではみんな仲が良く、授業中の私語などで先生から注意されることもありません。しかし、農業科のみんなは、一人一人違う個性があります。また、収穫感謝祭や合唱コンクールなどでは、みんなで協力して、とても思い出に残っています。

今年できなかった、高校最初の体育祭や修学旅行など、来年できるかはまだ分かりませんが、みんなで協力して、一生懸命頑張りたいです。

最後に、熊本農業高校の農業科で出会った四十人の仲間が一人も欠けることなく、卒業までの行事や毎日の授業をみんなで楽しみ、高め合いながら、高校生活三年間で、最高の思い出を作っていきたいです。

「これまでの活動を振り返って」

農業科 二年 江野 隼人

この作文を作成する上で、これまでの二年農業科の活動や生活態度について、改めてよく考えてみました。私たち二年農業科は、男女問わず一人一人がとても元気のいいクラスです。しかし、最近の二年農業科は、休み時間と授業とのけじめがあまりみれなかったり、いろいろな先生方に迷惑をかけてしまうことが、少しあったなと感じることがありました。その理由として考えられるのは二年目に入り、高校生活に対しての慣れや、上級生の三年生と下級生の一年生に挟まれている二年生という学年からくる、安心感からの気の緩みがあるのかもしれないと。ある先生からは、一人一人の意識が足りていないと指導をいただきました。また、二学期に入り就職するのか、進学するのか、自分の将来のことについて詳しく考える時期に入りました。それぞれ、進む道は違うのでクラスの雰囲気も落ち着いていた状態で考えるべきだなと思います。

約半年後には、私たちも三年生になり最上級生になるので、恥じることはない立派なクラスにしていこうと思います。

「男だらけしか勝たん」

農業科 三年 岩永 晃汰

園芸 果樹科

「笑顔あふれる園芸・果樹科」

園芸・果樹科 一年 塩飽 潤輝

私たち三年農業科は、大半が男子で占めていて、とても元気で楽しく学校生活を送っています。三年生になり実習の授業が増え週に計九時間作物、野菜、農業機械の三つの専攻に分かれて取り組んでいます。

今年は、コロナウイルスの影響で三ヶ月間の休校、また様々な行事の中止など満足のいく一年とはなりませんでした。そんな中でも南園祭の販売会では、作物専攻が作ったお米や野菜専攻が作ったメロンを販売し、機械専攻は販売のサポートを行うことで、クラス全員で協力し、たくさんの方に買っていただくことができました。また、進路活動では、一人ひとり自分の進路に向けて一生懸命頑張ってきました。お互いに面接の練習を手伝い、感想や助言を与えあうなど切磋琢磨しながら活動する場面も多々見られました。

このクラスでの三年間は本当にあつという間でした。クラスの仲間も担任も副担任も三年間変わらずたくさんの思い出を作ることができ、絆が深まりました。卒業後は、それぞれの進路に進みますが、今まで身に付けた力を生かして頑張っていきたいです。私はこのクラスで三年間ルーム長をすることができて本当に良かったです。

私たち、一年園芸・果樹科の一番の魅力は皆が笑顔で学校生活を過ごしていることだと思います。それでは、園芸・果樹科で行っている活動をご紹介します。週に二時間農業を専門的に学ぶ総合実習を紹介します。園芸・果樹科は三つの専攻に分かれており、実習もその三つの専攻に分かれて行います。その一つの草花では、シクラメンの葉組や灌水などを行い、花の手入れを行っています。花の手入れをするときは、同じ実習の繰り返しで心が折れそうになる時もありますが、皆楽しそうに作業しています。二つ目の野菜では、ひご野菜の水前寺もやしの種となるダイズの栽培や熊農で育てているねぎなどの除草を行い作物が元気に育つように、いろいろな手入れをしています。最後に果樹では温室の除草や落ち葉取りなどを行っています。除草に用いる道具の名前は、最初のころは何のことを言っているのか分かりませんでした。だけど、日が経つにつれて、除草を行う際に必要な道具は何なのかを理解し行動できるようになりました。

最後に、一年園芸・果樹科は研修や実習、合唱コンクールなどを通して、きずなを深め、皆仲良く、学校生活が楽しいを思えるクラスになっていると思います。

「クラス紹介」

園芸・果樹科 二年 園田 健太

私たち二年園芸・果樹科は、男子十九人、女子二十二二人、総計四十一人のクラスです。去年から一人減ってしまいましたが、皆仲良くやっています。今年には自粛生活からのスタートでしたが、何も変化もなく平和に過ごせています。そして体育祭がなく、南園祭の食バザーも出せず、楽しみにしていた現場実習もなくとても皆、残念な気持ちで一杯です。残り少ない楽しみの一つ学科ごとの展示物。園芸・果樹科二年で作った展示物はモザイクアートです。皆の好きな画像を六百枚くらい集めて大きな園芸果樹科のキャラクター「ポンちゃん」を作りました。大きさは約二メートルです。買い出しに行ったり、紙をひつつけたりしました。皆と協力して何かをすることはとても良い経験になりました。完成したときのあの達成感はとても気持ちの良いものでした。この展示物で最優秀賞を取ることが出来ました。そして、先日あった生徒会、農業クラブ副会長選挙で見事三人の立候補者が当選しました。生徒会長中村玲央。副会長吉良侑己。農業クラブ副会長田上翔太。三人とも学校をよりよくするために期待しています。皆頑張ってください。最後に、このクラス、メンバーで三年生まで頑張っていけます。園芸果樹科最高！

「クラス紹介」

園芸・果樹科 三年 梅木 拓実

私達三年園芸・果樹科は、計四十一名で元気に様々な勉強に励んでいます。一・二年時とは違い選考に分かれてより専門的な学習に取り組んでいます。

花専攻では、シクラメンやプリムラ、キク、バラの他、様々な苗ものを販売しています。実習ではかん水や鉢上げ、鉢替えなどを行いながら、接ぎ木などの専門的技術を習得しています。

野菜では、メロン、スイカ、トマト、ハクサイ、トウモロコシなど、様々な野菜を育てながら、播種、栽培、収穫、出荷調整と、一連の野菜の生産方法を深く学んでいます。

果樹専攻では、モモ、温州ミカン、ブドウ、キウイ、柿、梨など、約三十種類以上の果物を育てています。実習では、収穫や、除草の他、剪定や、忌地を防ぐために、土入れなどの実習を行い、果樹栽培の基礎基本を学んでいます。また、進路活動や、課題研究発表会など、三年生として、気は抜かず、日々の学習を頑張っているクラスです。

畜産科

「クラス紹介」

畜産科 一年 古庄叶夢

私たち一年畜産科は、一人一人が明るくて、元気でいつも賑やかです。

また、普段から当番や実習で動物や植物の管理をしているので、少ない人数で多くの仕事を終わらせなければいけません。そうすると自然に、班員どうし協力し合うことの大切さを学び、団結力が上がっていきます。

十一月にあった合唱コンクールでは、日頃から当番や実習で鍛えあげられた団結力を生かし、最優秀賞、指揮者賞、伴奏者賞を受賞する快挙を成し遂げました。これは、個人個人の頑張りとクラス全体の頑張りが形となって現れたのでクラス全体の成長を感じました。

しかし、一年畜産科にはまだまだ足りない部分があるなど感じることがあります。私たちは家畜の命を預かって授業を受けているにも関わらず、気が抜けることが多く、先生方に注意を受けることが多くあります。正直、褒められるよりも叱られていることのほうが多く目立ちます。ですが、考え方を変えれば、自分たちがしなくてはならないことが何かを考えることができるチャンスが多く、大きく成長できると考えられます。

つまり、伸びしろが沢山あると期待できるクラスです。

「2年畜産科のクラス紹介」

畜産科 二年 迫 喬有

私たち二年畜産科は男子二十五名、女子十四名の計三十九名です。担任の先生は、下田先生で副担任の先生は、高橋先生です。毎日にぎやかな環境で動物の温もりに触れながら学習をしています。座学は得意ではありませんが、実習となると各班責任を持ち精一杯頑張っています。

二年生になり、今年度から始まった食品製造の授業では、実習を通して育てている家畜たちを頂き、食への感謝や命の尊さを肌で感じる事ができます。この他にも、子牛や子豚、幼びななどが生まれ徐々に成長していきなついてくるなどの嬉しいことがある一方で愛情を込めて育ててきた家畜たちを、出荷する時や病気で命を落としてしまう場面を目の前にもあります。どの学習も専門性が高く、三年間しかない農業高校生活を豊かにしてくれています。

来年度からは「大家畜」「食品製造」「実験動物」と三つの専攻に別れ、それぞれの進学や就職、就農に向けて学習を行います。責任感は今まで以上に大切になってくると思います。メリハリのしっかりある最上級学年として残り一年頑張ります。そして一年後には、胸を張って卒業できるようにしたいです。

「三年畜産科の一年間」

畜産科 三年 北原 すみれ

三年畜産科は男女ともに仲が良く、毎日笑いの絶えないクラスです。座学ではあまり褒められたことはありませんが、実習や専攻学習ではそれぞれ精一杯頑張っており日々愛情をもって家畜達の管理をしています。三年生では大家畜(牛)、食品製造(豚)、実験動物(鶏)の三つの専攻に分かれ学習をしています。当番では最上級生ということもあり各専攻ごとに責任をもって実習に取り組んでいます。

今年は新型コロナウイルスの影響で三月に休校、学校が再開しても体育大会や南園祭の等々様々なイベントが中止や縮小し、少し物足りなさがある一年だったと思います。そんな中、昨日感染予防対策を十分にしようえで食味会が実施されました。食味会とは家畜達の命を含め、食べ物に感謝する会です。今年ではできるの不安な部分もありましたが、無事みんな楽しんで会を進行することができてとてもいい思い出になりました。今まで何気なくやってきた授業や実習、行事などのあたりまえの日常が本当は特別なものなのだと改めて実感しました。

高校生活最後の一年がこのような年になってしまったのはとても悲しいことですがこのままで終わらせることはできません。新しい生活様式で沢山の制限がありますが、一人ひとり全力で楽しめる3Zとしての思い出をもっと沢山作っていききたいです。ま

た、進路が全員決定するまで雰囲気づくりを行い、卒業式の日には全員笑顔で卒業したいです。残り少ない学校生活を元気の仲間と素敵な先生方とともに楽しみつつ頑張ります。

生活科

「1L」

生活科 一年 沼田 羅住汰

こんにちは、一年生活科ルーム長の沼田です。今回は、「南窓」という企画で、クラス紹介をすることになったので、一年L科の紹介をこれからします。

1Lは、みんな個性が豊かです。その個性を受け入れて成長しようと思つて、まとめたことが、1Lのクラス目標である、「十人十色・一人一人の個性を認め合うクラス」です。

そして1Lのみんなは女子力が高く、クラスメイトの誕生日の際は、お祭り騒ぎみたいになっていて、すごくJKしているなつて思っています。楽しさをみんなで共有することが自然とできていることは、あたりまえのように思うかもしれないけど、すばらしいことだよ。時には、騒ぎ過ぎて西先生を困らせることも多々あったけれど、それ以上に西先生のことを喜ばせたこともたくさんあったから、きにせず前に進みましょう!!

今年はコロナによって学校のスタートが例年より遅くなり、1Lのみんなには、それぞれ戸惑いもあったと思うけど、いざ学校

が始まると、いつの間にか二学期が終わってしまいましたね。長いようで短い二学期だったけど、毎日の学習を通してみんな成長できていたと思います。そして、1Lとしてのキズナもより深くなっていたので、もっと成長していきましょう。

「2L 最高!!」

生活科 二年 松尾 桃子

生活科では、「ファッション造形基礎」「フードデザイン」「子ども発達と保育」等の家庭科科目と農業科目を専門的に学習しています。その中でも、今年は二つの検定を受けました。一つ目は被服三級検定のハーフパンツ製作です。この検定は、ハーフパンツを七十分以内に作り上げるというものです。合格するために何回も仮検定を行い、たくさん練習をしました。その成果が発揮され、本検定では落ち着いてハーフパンツを完成させることができました。二つ目は、食物調理二級検定です。この検定は、十七歳女子に必要な栄養をバランスよく摂取できるお弁当を作るというものです。私たちは人参を二十五グラム以上使用し、煮物を含めた四品以上の献立を自分で立てなければなりません。初めてのことばかりでとても苦労しました。何度も献立を立て直し、お弁当作りは学校での実習の他に、家での練習を含めると十回以上行いました。本当に大変でした。しかし、練習を重ねる度に自分の成長を感じることができ嬉しく思いました。また、クラス

も互いに分からないことを教え合い、刺激し合える良い雰囲気となりました。最終的に全員で合格することはできませんでしたが、合格に向けて全員で取り組んできた事は大切にしたいと思います。これから、検定や進路などたくさんさんの試練が待っていると思います。しかし、みんなで一つずつ乗り越えて、人生で一度しかない高校生活を生活科全員で思いっきり楽しみたいと思います。

「全集中」

生活科 三年 川崎 りこ

私達は、担任の中島先生、副担任の長谷先生に支えられながら、男子四名、女子三十五名の計三九名で生活しています。今年は、新型コロナウイルスの影響でいろんな行事が中止になりましたが、それでも私達は「くまおに」「くま弁」「収穫感謝祭」「南園祭」などの開催することができた行事を最上級生として全集中で取り組んできました。その中でも私が特にみんなで全集中して取り組めたと思うものは、南園祭でのコスチュームショーです。練習をしていく中で意見が合わないこともありましたがそんな時はリーダーを中心にショーの成功に向けてみんなで団結し頑張りました。その結果、一人一人が輝き、思い出に残る最高のショーとなりました。大変な状況の中、コスチュームショーが開催できクラスのみんなと共通の思い出が作れたことを嬉しく思います。

農業経済科

「クラス紹介」

農業経済科 一年 大部 冬馬

私たち一年農業経済科は、男子二十七名、女子十八名の計三十八名で、男女仲が良くひとりひとり個性豊かなクラスです。

入学当初は緊張していたせいかみんなおとなしく、この先大丈夫なのかと、とても不安でした。そして、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、学校が数日間臨時休業となり、集団宿泊もなくなりまして。そのため、いつまでもあの空気のままでないかと心配していましたが、日を重ねるにつれて打ち解けあうことができました。今では、様々な経験を通してともに成長しています。

しかし、私たちには課題もあります。それは、授業中の発言が少ないことです。先生方からもよく発言が少ないことを指摘され、自分達も自覚しています。授業中の空気に圧倒されていつまでも直すことができていません。これは、これからの行事などで悪影響があると思うので、少しずつでも改善していき、様々な面で一致団結できるクラスを目指したいです。

私たちはもうすぐ二年生になり、専門教科の量や検定も増えます。今よりも一人一人が責任を持ち、下の学年を模範となるような行動を心がけていきたいです。

「毎日支え合いながら」

農業経済科 二年 嶋崎 春菜

私たち農業経済科は、男子二十五名女子十六名計四十一名所属しています。一年生のころに比べ男女の仲も深まりうるさくて怒られることもあります。楽しい毎日です。授業中は男子の休み時間の元気を生かして発言してくれます。それに比べれば女子は、授業中と休み時間のけじめをつけ、静かに集中しています。

経済科では、農業もしつつパソコンなどの実技をしています。速度については、早い人も遅い人もみんなバラバラですが、表計算、データベース、文書デザイン、プレゼンテーションは、みんなで教えあい協力しながら、1級全員合格を目指して頑張っています。わからないことは、わかる人に聞き、わかる人は、わからない人に教えています。

次に農業についてです。経済科では、白菜やダイコン、キャベツ、トマトなどの野菜やパンジーやビオラなどの花を育てています。先生方や地域の方々に人気ですぐ売れてしまいます。

勉強についても部活についても努力する人が多く成績も良いです。

わからない問題がなくなるくらい教えあいます。これからも農業経済科らしく頑張っていけます。

「クラス紹介」

農業経済科 三年 関 優斗

私が所属している三年農業経済科は、まずリーダー的素質のある生徒が多いクラスです。生徒会長、副会長、農業クラブ会長をはじめ各部活動のキャプテンも多いです。なので私は、このクラスは、学校を代表できるクラスだと思っています。

また、個性的な生徒も多いと感じています。にぎやかなクラスなので、休み時間は少し騒がしいですが、授業になると静かになり、めりはりがちゃんとできている時がほとんどです。しかし、授業中に寝ている人が多いというクラス全体で反省しないといけないこともあります。反省しないといけないことも多いですが、それよりも良いと思うところもあります。それは、協調性があるところだと思います。クラス内の話し合いの活動では、いくつもの意見が出てきて、私も話し合いを進めやすかったです。

3年間の思い出は、たくさんありますが、私の中で一番は、クラスマッチで優勝できたことです。優勝でした瞬間のあの時間はとても感動しました。この四十人で卒業できることに感謝したいと思います。

食品工業科

「それいけ!!F.パンマン」

食品工業科 一年 浦本 謙臣

私たち一年食品工業科は、男子十四人、女子二十六人、計四十人のとても元気がよくて、明るいクラスです。担任は、若くて美人な廣田先生と副担任は優しくてハンサムな廣友先生です。私たちのクラスは「楽しく、おいしい、食品工業科」の学科目標のもと、楽しく学校生活を送っています。食品製造や農環の実習ではクラスみんなが自主的に行動し、おいしいお菓子を作ったり野菜を育てたりしています。一年生では、小麦粉を中心とした製造をしておりクッキーやパウンドケーキ、パンを作ります。収穫感謝祭では、食品工業科全員でおいしいカレーを作りました。南園祭では合唱コンクールで優秀賞をとることができました。今年 कोरोनाの影響でできなかった行事も多かったけど、製造実習や外実習で協力することの大切さを改めて実感することができました。今年の活動を振り返って、来年は今以上にあいさつの声のボリュームを上げることを目標として一年食品工業科らしく、元気で明るいクラスにみんなできていきます。

「えふつー」の日常

食品工業科 二年 福田 優華

私たち二年食品工業科は、男子十名、女子三十二名の計四十二名で、二年間熊農生として学校生活を送ってきました。

私はこのクラスのルーム長を一年生の頃からしています。そのため、みんなとは少し違う立場でクラスを見てきました。特に今年は例年とは違い、体育祭は中止、南園祭は縮小など、私たちが楽しむはずの行事は残念な結果になってしまいました。だからこそ、唯一行われる南園祭のステージで何をすると楽しめるかの話し合いで、皆とても良い意見を出してくれ、その出た意見はユーモアもありつつ、どの生徒も楽しめるだろうな、という内容でした。

その時、やはりこのクラスは、楽しむところはとことん楽しみ、でも真面目にしないといけないときは真剣に一生懸命取り組み、うとする気持ちをもった人が多いなと感じました。

定期テストでは、それぞれが日頃のテスト勉強を頑張り、切磋琢磨している様子がみられるといったように、勉強面でも、とても素晴らしいクラスなんです。

食品製造の実習では、一年生の頃よりも、先生方から指導を受けることは減り、良い意味で慣れてきているのかなと思います。三年生では、ハムやベーコンの実習になると思うので、最後まで良い経験ができるように、クラス皆で協力していきたいです。

私は「えふつー」のルーム長をしていて、えふつーのメンバーで良かったな、と日々生活していて、心から思います。今年は大変な一年でしたが、来年は各々で忙しいと思うので、最後まで、私たちらしく学校生活を送りたいです。

「三年間を振り返って」

食品工業科 三年 尾方 乃涉

私たちはこれまでの三年間、日々の生活の中で、互いに協力することを意識してきました。特に協力して取り組んだのは、製造実習と学校行事です。

製造実習では、菓子類や肉加工品など、様々な製品の製造を行ってきました。実習のスタイルは、二人〜四人の班で行う持ち帰り実習と、流れ作業で販売用製品を大量製造する実習があります。持ち帰り実習では、互いに協力して実習を行わないと良い商品を作ることではできません。ですので、これまでの三年間、この点に注意して実習に取り組むことで、互いの仲を深めることができましたと感じています。

流れ作業では、持ち帰りの時よりも気を張り、注意深く取り組みが必要があります。自分の持ち場でミスをするると他の人に迷惑をかけてしまうので、周囲のことを考えながら実習を行いました。

また、学校行事では、南園祭で一年次に合唱コンクール、作品制作を行い、二、三年次では、自分たちで製造した製品を販売し

ました。製造、販売に取り組む中で、どうすれば良い結果をのこすことができるかクラスで話し合い、考えていく内にクラスの雰囲気も良くなり絆をさらに深めることができました。

日々の実習や学校行事を通して、一生付き合っていく仲間ができて、楽しかったと思える時間を過ごせました。これからも協力する事の大切さを忘れずに皆それぞれの道を歩んでほしいです。

農業土木科

「毎日楽しい農業土木」

農業土木科 一年 村田 大陸

私たち一年農業土木科は、男子三十八名、女子二名の計四十名です。一人ひとり個性が強くとても元氣あふれる楽しいクラスです。

コロナ禍もあり六月頃から本格的に学校が始まり、緊張のせいか静かな授業で先生方にほめられることも多くありました。日経つにつれていい意味でクラスの雰囲気もよくなり、今は昼休みにカードゲームやサッカーをしたりして少々騒がしいほどです。収穫感謝祭では、クラス全員で協力し非常に楽しいカレーを作ることで、さらにクラスの雰囲気がよくなりました。また実習の時には積極的に取り組み、多くの資格取得に向け日々クラスの仲間たちと協力し合っています。農業土木科が取れる資格は、測量士補二級土木施工管理技術などがあり、そのほかにもいくつかの国家資格があります。これらの資格を取るために私た

ちは頑張っていることは、朝課外です。これは、七月ごろから取り組んでおり、現在も続けています。しかし最近寝ている人、遅刻や欠席する人が少しずつ増えてきています。こういった反省点はクラスの一人一人が意識しながら改善していけたらと思います。

一年生らしく農業土木科らしく毎日ガムシヤラに前へ進み、毎日わかりやすい授業をしてくださる先生方や、朝早くに弁当を作ってくれる親に感謝してこれからの学校生活をクラス全員で楽しく過ごしていきます。

「今の2Eとこれからの2E」

農業土木科 二年 上田 真裕

私たち二年農業土木科は男子三十八名、女子三名の計四十一名です。担任の白石先生と副担任の西島先生で毎日楽しく過ごしています。2Eは朝からみんな元氣で明るく活気があります。また勉強面では、毎日朝課外を行い資格取得に取り組んできました。運動面では、一人一人の能力がとて高いです。運動と勉強の二つができることが私たち二年土木科のいいところです。

しかし、いいところもありますが、反省する点もあります。一年生のころに比べると、私語をする人、寝る人が増えてきました仲がいいことはいいことですが、授業の時のけじめをつけていきもうすぐ三年という最上学年になるので一人一人が自覚を持つ

て生活していかないといけないと思っています。

このように土木科のいいところがたくさんあります。いいところはもっと伸ばして行って、改善すべきところは見直ししていき自然にみんながお互い気を付けあえるようなクラスを作り、二年土木科は一番のクラスだといわれるようにしていきます。

「三年間を振り返って」

農業土木科 三年 稲田 太陽

私は三年間農業土木科のルーム長としてクラスを引っ張ってきました。

私が在籍している農業土木科は男子三九人、女子三人と男子が多いクラス構成になっており、とても元気のあるクラスである。一年生の頃は、高校生活に不慣れな部分があり、緊張感もあった。二年生では、だんだんクラスに慣れてきたこともあり、浮つき、一年生の頃に比べ、注意されることが多くなった。また更に、一年生の頃無欠席だった課外も欠席遅刻が多くなり、クラスとしてのレベルが下がってきてるように感じた。しかし三年生になると、最上級生としての自覚が現れ、休み時間も進路に向けた自主学習に取り組む生徒もおり、放課後も遅くまで残る人もいた。その成果として、クラスの半数以上が公務員に内定することができ、就職、進学でも、全員進路実現することができた。

今後は、それぞれが別々の道に進む。この熊本農業高校農業土

木科で学んだことを新しい場所で発揮していきたい。

私は、熊本農業高校農業土木科で三年間ルーム長をして、とてもいい経験ができた。新型コロナで様々な行事が中止になったが、合唱コンクール最優秀賞や体育大会の学年競技優勝など、最高(315)なクラスだった、ありがとう。野尻先生、大好きです。

三年生の一言メッセージ

農業科

★三年間の思い出

- 一野 真慧 修学旅行。自由行動楽しかった。
梅田 周佑 様々な専門的な知識を学べた。
江藤 俊希 弁当タイムみんなと楽しく談笑。
大見 泰樹 3年間楽しかった。
岡原 山斗 修学旅行。人が多くて驚いた。
古上小彩香 普通高校で味わえない農業実習。
坂崎 颯人 修学旅行。東京自由行動楽しかった。
坂野 勝則 放課後。みんなとのサッカー。
白木 裕真 協力して頑張った農業実習
田島 伶隼 野菜とか育てるのが楽しかった。
樋田 涼太 南園祭。楽しく販売ができてよかった。
鶴元 大志 みんなと放課後楽しくサッカー。
中村 和義 笑顔がたくさん的高校生活。
中村 隼大 お疲れサマンサ!!
平田 裕資 3年間、みんなお疲れ様でした。楽しかった。
前田 桃吾 3年間、楽し過ぎた。寂しいけれどありがとう。
松川 剛志 実習中、鳴り響いた先生の声
松下 智哉 課題研究。やりたい事ができた。
村尾 大介 現場実習。二人で七泊八日の生活大変だった。

矢野総太郎 3年間。全てが楽しかった。

吉永 真友 学校が楽しい

米田浩二郎 3年間楽しく学校生活を送れたので良かった。

★三年間で学んだこと

小原 桂斗 色々な礼儀を学んだ。これから生かす。

安松 快斗 友達をたくさん作れてよかった。

★学科の良さ

坂本 洋駿 明るく元気がよく、とても活発的。

波戸根藍士 みんなが、とても仲が良く団結力があるところ。

平山 雄大 とてもフレンドリーな人が多く元気!

★先輩に伝えたいこと

一野 洗慧 お前は今まで食ったパンの枚数を覚えているのか。

岩永 晃汰 生きていけばいいことばかりじゃない

奥井 武蔵 この帽子をお前に預ける。

小山 虎南 強くなりたければ、喰らえ!!

園田 琢人 お疲れサマンサ! 領域展開!!

中野 華月 お前がナンバー1だ!!

中村 太一 タピオカ片手に Feel Like I. m a JK

福本 拓馬 コツコツが勝つコツ

藤本 太陽 明けない夜はない

本住 政矩 時間は、あつという間。無駄な時間なんてない。

水谷 史哉 やりたいことをやろう

宮田 真聖 どんな状況でも置かれた場所で花を咲かすこと。

村上 隼大 お前も鬼にならないか？杏寿郎。
山戸 一世 好きです。付き合ってください。

園芸・果樹科

★卒業後の夢

坪 もえ 立派な看護師を目指して一生懸命頑張ります。
石本 啓太 農業高校の教師として頑張りたいと思います。
上田 尊 立派な農業自営者を目指して頑張ります。
上村 橘花 ホテルマンになれるよう一生懸命頑張ります。
梅木 拓海 ブドウの生産者として頑張っていきたいです。
岡部 向葵 小児科の看護師目指して頑張ります。
片山 晃菜 信頼される整体師になれるように頑張ります。
川口 沙穂 3D技術を駆使できるように勉強したいです。
佐伯 亜海 理学療法士として患者様に笑顔を届けます。
坂井 志帆 立派な管理栄養士になれるように頑張ります。
佐々木莉奈 パソコンの国家資格を取れるように頑張る。
末松伸太郎 農業を続けて農園を作って頑張りたいです。
田辺あゆな お客様に合ったサービスを提供したい。
佃 泰斗 アパレル界で伝説を作るで。
樋田 美里 取得してきた資格を活かしていきたいです。
福永 蛍太 英語ペラペラになって世界美女巡り。
外村名津紀 ギャルにならないように気を付けます。
本田 桜子 立派なホテリアになります。

水本 絢才 食べ物のスペシャリストになる！
蓑田 瑛仁 とりあえず太らないように努力
森田 雅稀 立派な買い越しになれるように頑張る。
山田 遙日 誰よりも動けるマッククルーになる。
山本 奎吾 ロバ男としてデビューする。
吉田 壮太 けがしない。

★卒業後の目標

大隅 零生 ボクシング頑張って大学卒業できるように頑張る。
園田 桃子 大学に進学し自分のやりたいことを見つけます。
中尾 瑠希 理学療法士になれるように勉強を頑張る。
中野真之介 ミカンの新しい品種をつくるために頑張る！

★学科の良さ

坂本 勇氣 果樹の先生がしゅき。
高野 航河 先生と生徒の仲が良く、楽しく過ごせる学科。
寺町 彩 試食する機会が多くある！
本田 藤子 たくさん試食する機会がある！

★熊農の良さ

平江 蘭子 クラスマッチなどのたくさんの行事が楽しい。
福嶋厚士郎 そこの高校生より農業ができるようになる。
田口 怜 感情がなくても楽しい。
田山 はな いろいろな行事があつて、楽しいところ。
内田由美子 体育大会や南園祭などのイベントが楽しいよ。
★後輩に伝えたいこと・その他

沖住 菜花 卒論コツコツ書かないと苦労する。
野口 琴美 彼氏しか勝たん！

畜産科

★学校生活

井 大樹 きついでど頑張った実習。
浦 龍馬 つなかん（つなかりに感謝）
魚山 七未 七学科で一番元気でキャラの濃いクラス！大好き。
黒田 幸実 命について、深く学べた三年間だった！
坂本 翔 最高の仲間と楽しく行事を行った。
志垣 実愛 楽しく笑顔で充実した学校生活だった。
城 瑠亜 三年間、濃すぎる高校生活だった。
高森 健輔 たくさんやらかして怒られたのもいい思い出。
田嶋 美陽 登校しすぎて学校依存症になった。さいくく！
田尻 春香 面白くて最高の仲間ができた。楽しかった。
千原 颯汰 たくさんの思い出ができたぜ！ありがとう
長野 剛典 三年間最高に楽しかった。ありがとう。
★プロジェクト活動
北里 隆真 一生忘れることのない経験をした！！
黒木 善信 一生涯付き合える仲間ができた！
陶山 要 自分の夢も最高の仲間もつくれた。楽しかった
田中 小春 自分の力も時間も青春もすべてを注いだ。
寺田 広海 ブロイラーの世話は、大変だったが楽しかった。

藤澤 秀斗 仲間と遊びながら活動できて楽しかった
本田 鈴奈 日本一のメンバーが大好き！！
宮田 愛花 家族のような雰囲気。とても心が落ち着いた。

★修学旅行

上野 嵐大 黒木をおいてみんなでもんじゃ食べた。
原口 実結 パレード見すぎて怒られた。
本田美咲姫 遅刻して、反省文。班長はプラス一枚何でかな
前村 美羽 集合時間勘違いして怒られた。
丸山 凜 初東京。上野自由行動で皆迷子で超焦った。
光井 文香 沢山、美味しいものが食べれて嬉しかった。

★実習（専攻学習等）

飯田 未夢 全力を出し、日々頑張っていた。
岩村 颯 きつい実習でも気が付けば全力で楽しんでいた。
林田 華音 大変だったけど、おいしい肉が食べれた。
坊野 礼音 色んな経験が人生の糧となり、今に至る。
宮崎 有爽 沢山の経験ができ、成長することができた。

★部活動

池上 綾 本当は応援団もやってみたいと思ってた。
今林 楓 全員一つで走った台風の目で突っ走った。
西村 優沙 日本一とれてよかった。来年も頑張れ。
三浦 咲 ブラントポニョしか勝たん。
三浦 禅竜 みんなで頑張った部活。
渡邊 綸華 悔しさを越えた先には牛が大好きな自分がいた

財津 伶 伍ノ型 修学旅行かつ井早食いやむを得ん
坂木 奈緒 陸ノ型 三年間困り眉とかやむを得ん

★卒業後の夢

柴田 凜果 エルスリーみんなの結婚式に行きかわいい姿をみることです

下村穂奈実 りんかと私の結婚式にみんなを招待すること♡

鶴田まなか 自分のやりたいことを全部やりたい！

橋爪 紗華 資格取得して介護福祉士として日々働く。

農業経済科

★三年間の思い出

荒木 文登 食バザー。皆で協力して見事完売できた。

内田 純世 自由行動。班の人たちと東京を観光できた。

亀井 彩矢 修学旅行。皆で買物できて楽しかった。

久米 愛大 クラスマッチ。優勝できたからうれしかった。

関 優斗 サッカー。優勝できて最高だった。

梨田 愛斗 南園祭。みんなで焦がしたポップコーン。

古川 慎 ミルク牧場。ウインナーが美味しかった。

村山 輝斗 クラスマッチ優勝できてうれしかった。

★学科の良さ

上田 美空 やるときはやる、元気いっぱい経済科！

門岡 照英 様々な分野において常にナンバーワンな学科

木村 天 学校を中心となる人物が多い学科

鋤野 遥香 たくさん検定を取得することが出来る学科

時田航太郎 資格の数は負けなし。無敵の経済科。

藤岡 大雅 一人一人がリーダーシップの取れる。

宮川 稜王 パソコンの技術が格段に上がる。

吉田 徹平 パソコンいっぱい経済科！

★熊農の良さ

岩崎 拓海 熊農は敷地が広すぎて周りきれない。

加藤 真幸 専門教科を学科ごとに幅広く学び、活動する。

城戸 一護 体力がついて、無理な状況でも動けるように。

庄田明香里 パソコンや現場実習など様々な経験ができる。

田尻 裕輝 先生方がフレンドリーに接してくれる。

平岡 優音 緑が多くてかわいい動物が沢山いる。

松本 仁 多くの生徒や先生。新たな学びに飽きない毎日

吉澤 賢悟 先生との距離が近く、授業が楽しい。

★後輩に伝えたいこと

井上 藍夢 提出物だけはちゃんと提出すべし。

奥村 咲希 遅刻・欠席はできるだけしないようにしよう。

北山 大凱 やるべき事は、早め早めに終わらせる事。

榮 胡桃 三年間の行事はあつという間だから楽しんで。

竹原 浩夢 先生の話をしっかり聞こう

平江衣理伽 後悔する前にやりたいことはやってみよう！

松村 玲実 三年生は忙しいから今のうちに遊ぼう。

山下 花朋 思ったよりあつという間に時間が過ぎちゃうよ！

★卒業後の夢

有田まとい 仕事もプライベートも充実した大人になる。
江崎 倅菜 感謝の気持ちを大事にする大人になりたい。
川瀬 克弥 高い目標に向けて、一生懸命努力する。
境 遥矢 目標を高く掲げ、それを必ず達成したい。
高島 未羽 お世話になった人達に、恩を返していきたい。
西浦 蓮 夢をあきらめず達成できるよう努力する。
松井 大琉 人から感謝される人間になる。
森 洋 素直でありがとうがきちんとと言える人になる。

食品工業科

★三年間の思い出

飯島 悠斗 放課後にトランプ最高！ありがとう。
池川 来香 三年間。毎週の実習が大変だった。
伊藤 伊吹 皆さえよければ思い出なくていい。
岩代 陸 修学旅行で、沢山騒いだこと。楽しかった。
岩本保奈美 修学旅行。デイズニー、原宿、最高だった！
上村 美咲 彼氏欲しかった。募集中！！！微分積分！！！ボル
シチ
後迫 蓮 修学旅行。たくさんの初めて楽しかった。
★卒業後の夢
宇多田愛羽 進学先で、たくさんすることにチャレンジしたい。

大隈 彩加 自分の考えたお菓子を作ってみよう。

尾方 乃涉 ブラタン・イブラヒモビッチみたいになる。

岡村 赳志 進学先で、勉強をがんばりたい。

清田 綾音 勉強を頑張り、知識や技術を身に付けたい。

清田 大智 目標とされる人になる。

後藤 唯花 好きなことをして、ずっと笑顔でいたい。

小牧 優人 北海道でうまいもんを食う。

★後輩に伝えたいこと

佐方 鈴 何事も早めに取りかかろう！

佐藤莉々花 精一杯楽しんでください！

塩田 康二 楽しんでいこう。

下村 渉 バレーボールしか勝たん。

田代 愛美 高校生らしく楽しんでください。

田代 龍星 修学旅行に恋愛は持っていかないように注意！

田上 涼介 何事にも楽しんでください。

中尾 心音 思い出たたくさんつくってください！

★熊農の良さ

中村 陽菜 収穫感謝祭でカレーが食べられる。

錦戸 みく クラスがえが無くてもみんなと仲良くなれる。

萩野 琉汰 たくさんの行事がありとても楽しい。

濱崎 果歩 命や食の大切さを学ぶことができる！

林田 和輝 学科が多くて友達も増えやすい。

東 里紗 色々な学科があり自分の学びたい事が学べる！

福永 滉太 動物たちがたくさんいてにぎやか。

前田 空里 文化祭に力を入れている。

★学科の良々

増田 萌香 みんなが仲良くて、楽しい学科！ボルシチ

松永彪太郎 作ったものを持って帰れる学科！ボルシチ

松野栄里佳 みんな明るくて、笑顔の絶えない学科！ボルシチ

森口 杏 一人一人の個性が強くて、面白い学科！ボルシチ

矢壁 駿 仲良くて、楽しい学科！ボルシチ

湯谷 佳歩 先生可愛操可愛暴流七

吉田 詞美 授業中、気づいたら、皆寝ている学科！ボルシチ

吉武 太一 ホルモル滴定法しか勝たんくね？防留質

農業土木科

★三年間の思い出

石原 颯人 私が来たあ！これからもよろしくお願いします。

稲田 太陽 小永ワンパン！

井上 翔太 おにぎりしか勝たん❖

猪原 秀也 創英角pop体最高👉

大久保桃子 水島先生しか勝たん！

岡本 佳将 なぜ生きる。理由はない。

亀井健太郎 設計しか勝たん♡

坂本 亨汰 八代七中しか勝たん♡

下津 健嗣 もみあげしか勝たん！

白川 聡汰 毎日楽しかったです。ありがとうございます！

世良 祐真 学校生活楽しかったです。ありがとうございます！

高村 弘基 農業土木科しか勝たん！No Pain No Gain

田尻 麗 みんなで筋トレしか勝たん！

田中響太郎 南区しか勝たん！

田中 心 毎日最高でした。ばいちゃ！

鶴田真希志 友達がたくさんできました。ありがとうございます！

徳永 知樹 楽しい思い出ができました。ありがとうございます！

長尾 匠真 みんな友達になってくれてありがとう！

中島 裕翔 高校生活。最初から最後まで工場長だった。

中野くるみ 高校生活。結局、みんなの騒ぐ姿が一番好き！

中村 魁斗 高校生活。思い出いっばいでした。ありがとうございます！

成松 源太 高校生活。あつという間だった。

長谷川智亮 高校生活。楽しかった。

鳩野雄一郎 明日死ぬと生きていきなさい。でも長生きしてね。

原田 健史 陰キヤ生活。楽しかった。

原田 征太 けがが多く、試合に出れなかった。

東田 純平 高校生活。楽しかった。

平田 一斗 みんなお元気で！ありや？

廣田 晃大 三年間ありがとう。楽しかったです。

藤本 佳菜 三年間ありがとう！楽しかったです。三E最高

堀尾 拓矢 とにかく毎日楽しかった！ありがとうございます！

本田 航輝 三年間ありがとう。楽しかった。

前方 瞭佑 楽しかったです。みんなのおかげ♡

松本 藍斗 三年間毎日楽しく過ごせました！ありがとうございます！

松本 樹来 おはようでやんす♡

三原 辰太 三年間あつという間でした。楽しかったです！

山崎 朝陽 体育大会。みんなの団結力が深まった。

山崎 天晴 修学旅行。初めての東京すごく楽しかったです。

山中 秀俊 南園祭のバザー。みんなで作って楽しかった。

山本 泰輝 土木科最高。

山本 蓮 世界一のイケメンになる。

吉田 壮顕 たまには遊びに来てね♡

南園祭

「初めての南園祭を終えて」

農業科 一年 濱田 陽斗

私は、このあいだ熊農に入学して初めての南園祭に参加しました。コロナ禍ということもあり三学年別々での開催となりましたが、どの学年も有志発表や一年生は、合唱コンクールなど様々な場面でコロナ対策をとった上で盛り上がっていたのでよかったですと思います。

私たち一年生の合唱コンクールでは、どの学科もとても完成度が高く、かなりレベルが高かったです。そんな中一年農業科は、ミセスグリーンアップルの「春愁」を合唱曲として選びました。合唱曲を決めるとなったときに春愁のほかにもたくさん有名な曲が選ばれていてなかなか決まりませんでした。そして春愁が合唱曲に決まった一番の理由は、みんなが知っている曲だからということと、投票が多かったという点です。一番投票数が多い曲が決まるのは当たり前だと思うかもしれませんが、投票数が多いということは、クラスのほとんどの人たちがその曲を、合唱コンクールで歌いたいと思っているということです。やはり合唱コンクールなどクラス全体で行う行事は、クラス全員の気持ちが揃っていないと、見ている人の心に響くような合唱できませんので投票数が多いというのは、クラスの気持ちになり一致団結し

て臨むことができました。

私は合唱コンクールのリーダーになりました。しかし、私はあまり人の前に立つのが得意ではなく、なかなかクラスをまとめることができませんでした。しかし、手伝ってくれる人がいたり音楽の授業などで、みんなが真剣に取り組んでくれたおかげで当日は緊張しながらも、今までで一番いい合唱ができたと思います。賞はとれませんでした但最终的にはクラス全体で一つのことに一生懸命取り組めたのでとてもいい思い出になりました。

「南園祭」

農業科二年 山口 珠央

私たち、二年農業科は「令和」というタイトルで展示物を作りました。最初は何が必要で、どんな物を作るのかさえ分かりませんでした。展示物作成の係りの人たちと一緒に考えてあまりお金がかからず、インパクトのあるものを作ろうと決めました。

そこで思いついたものは、現総理大臣の菅官房長官が「令和」を発表した時の顔パネルです。菅さんの写真をプリントし、段ボールに張り付けて顔をくり抜くという簡単な作業に見えますが大変な作業でした。ですが、みんなが放課後残ったり、休みの日に出てきたりしたので、すぐに出来る事ができました。

そして、学んだことがありました。それは、みんなで協力し合えばすぐに終わるし、思い出に残るといことです。最初は、二

人で作業していました。その時は正直、時間がかかるしめんどうさいなと思いつながら、ただただ作業を淡々とこなすだけでした。ですが、みんなを呼んで作り始めると、いろんな案が出てきたり、どうしたら効率的にできるのかなどが気づけたりして、やっぱり協力するのとはしないのではまったく違うんだなと実感しました。そして、今までよりもっと距離も近くなったと思います。

これからも、協力しないとできないことや乗り越えられないことがあると思います。その時もみんな力で力を合わせて案を出し合いながら頑張っていきたいと思います。

「絆深まる園芸・果樹科」

園芸・果樹科 一年 久原 巧豊

園芸・果樹科は合唱コンクールや先進地視察研究などの活動をふりかえると合唱コンクールの練習から本番までの日数でバラバラに分かれてちよつとした事で言い合いになったこともありましたがパートごとの練習や放課後残つて練習している人が増え、少しでもみんなに協力したいという人が増えてくるととても嬉しかった。先進地視察研究では色々な農場に行きいろんなことを学べました。私がみんなの気持ちを分る訳ではありませんがたぶん1人1人が違う思いで研究に参加し、見たり、聞いたり、感じたり、考えていたと思います。また、このような活動を通して園芸・果樹科のきずなが深まり、今のクラスがより良くなつてい

ると思います。

これから、誰かが1人できるときや悩んでいるときでも、クラスの間が支えになってくれる、そんなクラスだと思っています。

これから一緒に暮らしていく上で更にきずなが深まり高校生活が充実していくと良いと思います。まだ、けじめがないこともあるので、自分でも時間を見てテキパキ行動してくれるよう今後の成長にも期待をしたいと思います。

「南園祭」

園芸・果樹科 二年 園田 健太

私たち二年園芸・果樹科は、男子十九人、女子二十二人、総計四十一人のクラスです。去年から一人減つてしまいましたが、皆仲良くやっています。今年も自粛生活からのスタートでしたが、何も変化もなく平和に過ごせています。そして体育祭がなく、南園祭の食バザーも出せず、楽しみにしていた現場実習もなくとても皆、残念な気持ちで一杯です。残り少ない楽しみの一つ学科ごとの展示物。園芸・果樹科二年で作った展示物はモザイクアートです。皆の好きな画像を六百枚くらい集めて大きな園芸・果樹科のキャラクター「ポンちゃん」を作りました。大きさは約二メートルです。買い出しに行つたり、紙をひつつけたりしました。皆と協力して何かをすることはとても良い経験になりました。完成したときのあの達成感はとても気持ちの良いものでした。この展

示物で最優秀賞を取ることが出来ました。そして、先日あった生徒会、農業クラブ副会長選挙で見事三人の立候補者が当選しました。生徒会長中村玲央。副会長吉良侑己。農業クラブ副会長田上翔太。三人とも学校をよりよくするために期待しています。皆頑張ってください。最後に、このクラス、メンバーで三年生まで頑張ってください。園芸・果樹科最高！

「南園祭を終えて」

畜産科 一年 藤納 美輝

私たち一年生にとっては、初めての南園祭となりました。コロナの影響で学校全体ではなく、各学年ごとの開催となってしまいました。しかし、そんな中でも開催できたことはとても嬉しかったです。一年生は主に合唱コンクール、有志発表でした。

合唱コンクールでは、各クラスが本番まで一生懸命に取り組んできました。はじめはなかなか全体がまとまらずに苦戦することもありましたが、本番に近づくにつれて緊張感が高まり、完成度も上げていくことができました。それぞれのクラスの個性溢れる歌声にとっても感動することができました。

次に、有志発表です。有志発表では、ダンス、歌唱、クラブ発表等がありました。各発表をステージで見て、ダンスはみんなで盛り上がりつついて一体感が出ていて、見ている方もとても楽しかったです。歌唱では、感動したという声が多かったのでみんなの

思い出に残ったと思います。

一年生にとって初めての南園祭でしたが、思い出に残るものになったことはとても嬉しいことだと思いました。これから二、三年生になった時にもみんなの思い出に残る楽しい南園祭を造り上げていきたいです。

「南園祭を通して」

畜産科 二年 芳武 春花 本島 叶

今回の南園祭は、例年の南園祭と違って各学年でのステージ発表となり戸惑う気持ちと、うまくいくのかなと不安な気持ちでドキドキでした。しかしクラスの展示動画では数週間前から動画撮影や編集を頑張りました。動画には二年畜産科の個性あふれる動画に仕上がり、先生方やほかのクラスからの「いいね。」という声に、例年とは違った今年だけの特別な南園祭にできました。今回の経験を通して個人撮影というクラス全員に協力してもらえないとできない作品を作ることによりクラスを一つにまとめる力と助け合う力を身につけることができました。来年、私たちは三年生になります。最上級生としての自覚を持って行動していくとともに、命も尊さをよく知っているからこそ、食べ物を含めでもっと大切にしていけると思いました。

来年の南園祭では、畜産科メインの販売になるので今年以上に気合を入れ、協力して最高の思い出を作ります。また、自分の中

でも最後の南園祭としてクラスのみんなと協力し、クラス全員の心に残るような南園祭にしたいです。そのために、今から最上級生になる準備をし、クラスだけでなく畜産科、熊農全体を引っ張っていきたいです。

「南園祭を振り返って」

生活科 一年 山下 瑠奈

高校に入学してから初めての行事が南園祭合唱コンクールでした。クラスの皆で一つのものを作りあげるというのが初めてで少し難しかったし大変でした。特に私のクラスは男子が二人しかいないのに混成三部で大変でした。練習していく中で様々な問題点ができました。一つ目は集合時間に全員集まっていないことです。合唱は皆で作るものなので一人でも居ない人がいると練習量はもちろんのことその日に伝えたことが確実に伝わらなかつたりするので集合時間に集合して欲しかったです。二つ目は誰かに頼りすぎてる所です。二つ目は誰かが声を出してくれから。という気持ちがあり、一人一人が声を出せていなかったら出さなくて欲しかったです。三つ目は歌詞を覚えてなかったことでした。三つめは歌詞を覚えてないから自信をもって歌えてなかったりしたことです。たくさんの問題点があったけど本番では皆きちんと声を出し、自信に満ちあふれたので良かったです。結果は残念だったけど団結力はどのクラスよりも練習の時よりも

ごく良いものになって良かったです。次は優勝できるように今よりもっと団結していけたらいいなと思いました。

「南園祭を振り返って」

生活科 二年 大石 莉桜

今年度の南園祭は新型コロナウイルスの影響で、規模を縮小して開催されました。二年生は各クラスで展示物を製作することになり、私は学年展示物の責任者を引き受けました。生活科では家庭科の専門科目の他に農場で野菜等を栽培しており、近隣の幼保施設の子とも達と触れ合い体験実習を行っています。そこで、「食と健康」をテーマとする壁面構成を製作することにしました。子ども達との触れ合いの様子を掲示し、巨大あおむしを描いてソーシャルディスプレイと呼びかけました。さほど時間もかからずに完成できたのはクラスの皆が協力してくれたおかげだと思います。クラスの個性が出た作品に仕上がりが、優秀賞をもらうこともできたのでよかったです。また、生活科三年生のコスチュームショーを観覧しました。来年度は自分たちが披露すると思うと、ステージの構成や先輩たちの作品がとても気になりました。先輩方のような最高のステージを作り上げることが目標として、これから被服製作はもちろん、他教科の授業にも積極的に取り組み、様々なことを吸収していきたいです。今年度コロナ禍でいつもとは異なる南園祭でしたが、開催できたことに感謝しています。残さ

れたクラスマッチ等の学校行事を、クラス全員で協力して、全力で楽しみたいと思います。

「南園祭を振り返って」

農業経済科 一年 山下 凌功

私たち、一年生は、合唱コンクールを行いました。数少ない練習期間の中で仕上げるのはとても大変だったけど、経済科のみんなで協力して、良い合唱をすることができました。しかし、賞をとることができず、クラスマッチに向けて意識を高めて全種目優勝という目標を掲げ、みんなで一致団結して頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルスの警戒レベルが5まで上がり、クラスマッチは中止といるなことがうまくいきませんでした。そこで私たち経済科は、この悔しい思いを胸に、来年の体育大会やクラスマッチが開催されるかはわからないけど、もし開催されたらその他の行事も含めて、全力で取り組み、必ずいい結果を残し、悔しい思いを晴らすという目標をかかげました。そのためには、その時の練習だけではなく、日々の授業からまじめに取り組むことが大事だと私は考えます。いつ何が起こるか分かりません。そのため、これからの日常生活、学校生活もコロナ禍によって変化してしまいました。残りの行事もどのような形で行われるか分かりません。しかし、それでも、開催できることに感謝の気持ちをもち、精一杯一致団結して、頑張ります。

コロナ禍の南園祭

農業経済科 二年 田島 裕介

今年の南園祭は、例年と違いコロナの影響で学年ごとに行われませんでした。そのため去年みたいに飲食店を出せませんでした。クラスで何をしようかと話し合った結果二年経済科は、二枚の絵を描くことになりました。メインテーマが、「越えろ」だったため一枚目には鳥の絵を描き二枚目には文字で「越」を描きまわりには、みんなの手形をかきました。みんなで協力し三日で完成することができました。南園祭当日では体育館で有志発表を見た後は前半と後半に分かれてビニールハウスで花の販売がありました。花の種類は、パンジー、ビオラ、キンギョソウ、ナデシコの四種類です。この花は全部経済科で、一から育てた花です。コロナの影響で来場者の数が、制限されていました。しかも雨が降っていたのであまりお客さんは来ないと思っていました。予想に反してたくさんのお客さんが来てくれました。

今回の南園祭を通して、仲間との信頼や協調性が高まりより一層クラスの雰囲気良くなったと思います。

「合唱コンクールを通して」

食品工業科 一年 坂田 衣央莉

合唱コンクールを行って見て、正直百点満点をつけられるような活動ではなかったと思っています。授業での練習時間が少なかつた分一回一回の練習や自主練の精度を上げていかないといけないと間に合わないのに、なかなかそれを実現することはできませんでした。それは、指揮者である自分がみんなをまとめて指示を出すことができなかったことにも原因があると思っています。クラスで何かに取り組む際にはクラスの統制がとれていることはもちろん、クラスみんなが同じ方向を向けるようにするリーダーが必要で、そんなリーダーに誰もがなれる一年食品工業科を目指していきたいです。一方、合唱コンクールの中で良かったことでもあります。それは、本番でクラス名を呼ばれた時の返事です。返事の大きさとはっきりさは最優秀勝でした。しかし、普段の授業では、あまり反応がないと指導をいただくことが多いので、合唱コンクールでの返事を普段からできることを今後に期待したいです。卒業した時に、このクラスで良かったと全員が言えるよう、各行事や普段の生活を通して学んだことを活かす努力を怠らないように頑張りたいです。

「ONLY ONE!」

食品工業科 二年 杉本 史華

私達二年食品工業科では、学年の展示企画で、クラス四十二人、そして担任と副担任、合わせて四十四人全員で足型アートを作成

しました。コロナ禍でたくさん行事が中止になってしまい、そんな中での南園祭。みんなが楽しんでできることを考え、七色の絵の具を使って虹を描くことにしました。LHRでみんなで足型をつけたり、放課後に有志を集めて足型をつけてもらったり、みんなが協力的でも楽しかったです。滑って足型が伸びてしまったり、全然絵の具がついていなかったりとハプニングもたくさんありましたが、みんなの笑顔がたくさん見れて、みんなの個性が詰まった世界に一つだけの作品ができて大満足です。入賞することは叶いませんでしたが私達の中では最優秀賞です!

昨年の南園祭ではあたりまえにできたことも、今年の南園祭ではあたりまえにできなくて物足りなさも感じました。でも、そんな状況でも楽しいと思えたのはクラスのみんなのおかげです。南園祭に限らず、あたりまえのことがあたりまえにできていること、一緒に楽しめる仲間がいることに感謝していくべきだと感じました。来年は、今まで通りの南園祭ができることを願っています。

「南園祭」

農業土木科 一年 増田 彩人

自分を含め一年生は、熊農で初めての文化祭でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小した形での開催となりました。

一日目は、カレーを作る人達はカレー作りその他は合唱鶴の練

習をしました。自分は一週間前に指揮者をする事になり焦りながらも練習していました。カレーができると全校生徒で食べ、とてもいい雰囲気で一日が終わりました。

二日目は朝から自分達、文化委員は展示物を見に来る生徒の誘導、ステージ発表の準備などの準備を進めていました。また規模を縮小した形だったので体育館は、一学年しか入ることができなかったのも正直、文化祭という雰囲気ではありませんでした。

合唱が始まり順序良くクラスごとに合唱をしていくなかで土木科は、部活で文化祭を抜けている人が十数名いたので他クラスと比べても人数が少なかったです。

合唱が終わり、個人、少人数での歌やダンスの発表が始まりやと文化祭らしい雰囲気になり盛り上がりました。やがてその発表も終わり無事、文化祭が終わりました。その後、一般の方々への販売でしたが土木科はありませんでした。

来年は例年通りの規模で実施できたらなと思いました。

「南園窓を振り返って」

農業土木科 二年 坂本 匡隆

私は、南園祭の有志発表でピアノを弾かせてもらいました。引いた曲はフランスの作曲家モーリス・ラヴェエハの「亡き王女のためのパヴァーンス」という曲で、この曲は形式は弱いですが、古き良き過去を思い返すような感情的な美しさと、少しの力強さを持

った局で、今は新型コロナウイルス感染症のせいで、昔のような自由に遊びに出たりすることができないですが、それでも力強く団結してコロナを乗り越えていこうというメッセージを込めてこの曲を弾きました。

クラスの展示では、モザイクアートをみんなで作りました。コロナでクラスのみんなと心ひとつの場所に集まって制作できませんでしたが、みんなそれぞれの役目を頑張って最後には立派な作品を制作し、優秀賞をとることができました。これは私たち二年農業土木科の団結力があつたからこそなしたものだと思います。今はコロナ過でみんななしたいこともできないですが、この団結力を持ってさえすればきっと乗り越えられると思います。

来年の南園祭は、この団結力を生かして、もっと楽しい南園祭になるようにしていきたいです

各部活動紹介

硬式野球部

「高校野球で学んだこと」

農業土木科 三年 吉田 壮顕

私は、硬式野球部に所属し、主将を務めることができました。硬式野球部は三年生二二名、二年生一九名、一年生一七名、マネージャー二名の総勢六〇名の大所帯ということもあり、たくさんの部員達をまとめることはとても大変でした。一人一人の気持ちや行動がまとまらず、苦勞すことも多くありましたが、副キャプテンや同級生らの支えもあり、一年間やり抜くことができました。硬式野球部の練習はきつく、平日は三時間、休日は練習試合等で終日活動をしていました。上級生が引退し、自分たちが中心となったチームからは、県内のみならず、県外の強豪校との練習試合も増え、より高いレベルの野球を知ることができるようになりました。また、冬季練習もよりハードになり、精神的にも肉体的にも辛い時期もありましたが、部員全員で支え合い、士気を高め合いながら次のシーズンに向けてチーム一丸となり乗り越えてきました。そして、いよいよ翌週からシーズンが始まるという矢先に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学校が休校になり、部活も自粛期間が延長、延長を繰り返し、その中で学校行事や甲

子園大会の中止が決定した時は、もしかしたら自分たちの最後の夏の大会も中止になってしまうのではないかと不安が募り、落ち着かない期間が続きました。しかし、そんな中でも、部員全員で連絡を取り合い、最後まで全員でやりきろうと声をかけ、またみんなが野球ができる日が来ることを信じて自主練習を続けてきました。そして、休校期間が明けて、久しぶりに部員達と顔を合わせて練習ができた時の喜びは今でも忘れることができません。その後、夏の代替大会の開催も決まり、最後の大会に向けて残りの期間を一致団結して練習に取り組んだ結果、念願の夏の優勝を掴むことができました。

私はこの三年間で当たり前に野球ができていた日常がどれだけ大切な時間であったかを学びました。最後まで支えてくれた家族や部員達、ご指導いただいた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。そして、これからの硬式野球部を支えていく一、二年生には感謝の気持ちを忘れず、日々の練習や学校生活を精一杯頑張つてほしいです。そして、このメンバーと出会えてよかったと思える三年間を送ってください。応援しています。

男子バスケットボール部

主将としての経験と感謝

農業土木科 三年 高村 弘基

男子バスケットボール部主将の高村弘基です。私は小学校から高校までの十二年間バスケットボールに取り組んできました。中学校でも主将を努め、高校でも主将を任せられました。高校バスケットでの主将は中学校とは違って自分で考えることがとても多くなりました。しかしチームメイトの協力、副キャプテンの支えにより、楽しく、切磋琢磨しながらバスケットをすることができました。私自身は一年生のころから先輩方と、一緒に試合に出させてもらい、先輩方の悔しい気持ちなど人一倍感じていました。そして自分たちの代に代わり、先輩方の思いも背負い超えるようにベスト八という目標を立てました。その目標を達成できるように、練習の時に課題を持ち、各々のスキルアップやアドバイスを行ってきました。しかし、コロナ禍の影響で総体は中止になり、代替試合が開催されるも、思うように結果が残せませんでした。しかし、チーム一丸となって最後まで戦えたので悔いはありません。野尻先生、松永先生、前顧問である上島先生、前野先生や、マネージャー、保護者の方々など多くの支えのおかげで、高校バスケットを終えることができました。なにより最後までついてきてくれた部員にはとても感謝しかありません。ありがとうございました。

次は、一、二年生の代なので目標をしっかりと持ち、目標に向かって悔いが残らないよう頑張ってください。応援しています。

女子バスケットボール部

頑張るときはいつも「今」

生活科 三年 川崎 りこ

「高校総体中止」高校三年間で最も衝撃を受けた言葉でした。高校で部活動をしている全ての人が高校総体を目標にきつい練習でも仲間と支えあって頑張ってきたと思います。私たちも高校総体ベストエイトを目標に頑張ってきました。そんな中、新型コロナウイルスの影響で学校が休校になり、高校総体前の大事な時期に部活動ができなくなりました。それでも高校総体への気持ちをきらさないように、各自で自主練習をしていました。しかし、高校総体は中止、七月にその代わりとして設けられた代替大会も二日目から中止になりました。その代替試合の中止が決まった日に顧問の先生が言われた「いつも全力で取り組んでいたら後悔しない」という言葉が心に響きました。日々のきつい練習の中でほとんどの人が、「このくらいいいや」と手を抜いていた「また次頑張ればいいや」と思ったことがあると思います。しかし、いつでも「次」があるとは限りません。高校総体、代替大会がなくなったことは非常に残念ですが、頑張るのはいつでも「次」ではなく「今」なのだと思えることができ、これから生きていく上

でもとても貴重な体験ができたと思います。

熊農女子バスケット部に入学し、多くの方に支えられ、大好きなバスケットボールができたことに本当に感謝しています。ありがとうございました。

男子バレーボール部

旧キャプテン 農業科 三年 福本 拓馬

私は、男子バレーボール部のキャプテンを務めました。六年間続けてきた中で初めての経験でした。私たちのチームは試合から見つかった課題を顧問の先生からアドバイスを頂き、自分たちで克服できるようなメニューを考えていました。私たちの個人の能力は充分にあるのに、新チームになって最初の練習試合などは、全然勝つことができませんでした。そこで、もう一度基礎からやり直し、当たり前のことを当たり前にできるようにさらに試合を想定し緊張感を持ち練習しました。個人の能力をちゃんと発揮できるようにチームの練習にも力を入れました。ここまで頑張ってきた中でコロナウイルスが流行してしまい三月の大会が中止になってしまいました。さらに三か月も学校に行けず、バレーボールをすることができませんでした。私たち三年生は、今までの練習の成果を全て発揮することができずに終わってしまいました。三年間のバレーボール生活で多くのことを学ぶことができました。チームとしての課題や目標に向かって仲間と協力すること、

また、できるまで練習を行い、努力を続けることの大切さなどをチームとして学ぶことができました。個人的には、キャプテンとしてチームをまとめるための大変さや責任感などを学ぶことができました。

私たちがここまでバレーボールができたのは、周りの支えがあったからです。試合で負けが続いて悪い雰囲気の中でも、顧問の先生や副キャプテンが支えてくれました。マネージャーにも多くの応援をもらいました。保護者も、毎試合見に来てもらい応援していただきました。どんな状況でも応援や励ましてくれたことにとても感謝しています。後輩たちには、試合で一つでも多く勝てるように、練習を頑張ってほしいです。

「高校総体に向けて」

新キャプテン 園芸・果樹科 二年 岩本 大輝

私は、バレー部主将の岩本大輝です。私たちは、部員十二名、マネージャー三名、計十五名で活動しています。

私たちは、来年の高校総体に向けて毎日の練習に励んでいます。今年は、新型コロナウイルスの影響でたくさんさんの大会など中止になり、先輩たちの青春の場がなくなり先輩たちと悔いなく終わることができなかつたのでとても悔しかったです。だから自分たちの代で先輩たちの分まで頑張っていこうと思えました。自分が主将になり、みんなをまとめていくことになったときは、少し不安もあつて最初の頃は、みんなを引っばっていけてなくてとても悔

しくなりました。そこで私は、考えました。主将が変わらないとチームは変わらないと思つたので自分が一番に声を出しチームを盛り上げていくとみんなも声や反応なども良くなり変わってきていることが分かりました。主将の大変さや今までやってきた先輩たちの主将はチームを大事にどうやっていくかなどを考えていることがとても分かったので私はその先輩たちよりも、もっと頼られる主将になり来年の高校総体で私たちが掲げているベスト八を目指します。まずは、自分がリードすることがとても大事になってくるため、一つ一つのことに對して盛り上げて最高のチームができるように、これからの練習を取り組んで、笑顔で終わりたいです。

女子バレーボール部

「大好きな仲間と過ごした最後の一年」

生活科 三年 鋏釣 心

私達、女子バレーボール部は、池部先生、蜷川先生のご指導の下、日々の練習を頑張ってきました。新チームになり、最後の一年間、強く、勝つことのできるチームになるように努力してきました。ですが、新型コロナウイルスの流行により、練習や大会ができなくなり、私たちの最後の舞台である、高校総体も中止となつてしまいました。これまでチーム全員で支え合い、努力してきた成果を発揮する場が、なくなってしまうことは、とても悔しか

ったです。また、このような経験を通して、バレーボールができていたことは、当たり前ではないと気づくことができました。

学校が再開し、練習も少しづつできるようになったとき、高校総体の代替大会があると知りました。出場するかとても迷いましたが、私はバレーボールが大好きで、この仲間ともう一度戦いたい、出場を決めました。これまでにない経験を

したからこそ、感謝の気持ちを持って取り組みました。代替大会では、一人一人がこれまでの努力を発揮し一つになって戦うことができました。ここまで活動できたのは、最後までご指導をしてくださった顧問の先生、送迎や応援をしてくださった保護者の方々の支えがあったからだと思います。また、私についてきてくれた仲間には本当に感謝しています。本当にありがとうございます。

男子サッカー部

「部活動を振り返って」

農業経済科 三年 藤岡 大雅

私は三年間サッカー部に所属しており、三年生では主将を務めていました。三年間同じ仲間と苦楽を共にできたことはこの先一生の思い出になるとおもいます。1年生の時は、慣れない環境で、先生や先輩方にたくさんのルールや目標などを教わり、プレーも

ついでいくので精いっぱい毎日でした。県外遠征や、校内合宿などでは先輩方と打ち解ける機会があり、少し気持ちが楽になり楽しくやれていたと思います。大事な試合の前の練習やゲームではチームの雰囲気がいま以上にピリつき、プレーのテンポも速くなります。これも高校に入って新たに感じたことでもあります。二年生の時は、後輩ができ自分たちが教えていく立場になりました。不安な事もありましたが二年生全体が支え合いやり遂げていくことができたのはとてもよかったです。二年生からは、Aチームに出始める人も多くなり、チーム内の競争も一年の時に比べると激しくなりました。三年生になれば、最上級生としてチームをまとめなければならぬ立場になります。初めはキャプテン二人は戸惑う所はあったのですが、二人いることとお互いがお互いを支え合いつつ、やるべきこと以上にやっていたので助かっていました。今年はコロナの影響で高校総体もなく、選手権も応援なしでの開催でした。ですが、最後に選手権の舞台でチーム一丸となりプレーできたことは、私にとって財産でありかけがいのない思い出です。次の世代には私たち以上の成果を残してほしいと思います。この三年間熊農でサッカーできたことを誇りに思いこれからの人生を楽しんでいこうと思います。

女子サッカー部

「今までの三年間」

畜産科 三年 西村 優沙

私たち女子サッカー部は、三年生三名、二年生六名、マネージャー三名の計十八名で活動しています。顧問は、松本先生、白石先生です。

主な活動内容はアップ・基礎・パス・ドリブル・シュート・ミニゲームなどです。基礎練習では二人一組になり四種類のトラップ、ヘッド、二種類のパスを行います。これらはサッカーをする上で欠かせない基礎的な動作なので、毎日練習の初めに取り入れています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で「総体」という大きな大会は、開催されませんでした。ですが、代替試合のBパートとして参加することができ、本当に嬉しかったです。公立のみのグループではありましたがその試合で優勝することができた時は、今までの練習成果を発揮させることができたと思っています。私が女子サッカー部に入部してなかなか結果に残すことができなかった日々がとても悔しかったので、本当に嬉しかったです。

また、今まで部活に取り組めたのは、保護者や先生方のサポートがあつてのことです。これからもその感謝を忘れず頑張っていきます。

男子ソフトテニス部

「部活動での学びと振り返り」

園芸・果樹科 三年 高野 航河

三年間の部活動を振り返ると本当にあつという間だったように感じます。しかし、多くの学びや初めての経験ができ、充実したものとなりました。

まず、私は初めて部活のキャプテンを経験しました。初めは、どのように部員をリードしていけばよいか分からずにみんなに苦労かけました。しかし、部員や顧問の先生方の支えもあり、だんだんとリードできるようになりました。

私は、この部活動とキャプテンという経験から学んだことは多くありますがその中から二つ紹介したいと思います。一つ目は、「部員をまとめる難しさ」です。人は一人ひとり個性があります。なのでまとめる難しさを知ることができました。二つ目は、「部員や顧問の大切さ」です。キャプテンとしても、テニス部としても私が成長できたのも部員や顧問の先生がいらっしゃったからです。私がつらいときや困ったときに手助けしてくれたのも部員や先生がいたからです。本当に感謝しありません。ありがとうございます。

最後に、後輩たちには、先生や仲間を大切にして、私たちの代よりも練習内容をもっと充実させ多く結果を残せるように、日々の練習に励んで欲しいです。

さまざまな貴重な経験、楽しい活動をさせてくれた仲間や先生方、保護者の皆さん本当にありがとうございました。

女子ソフトテニス部

「部活について」

食品工業科 三年 中村 陽菜

私は、学校生活の半分の思い出は部活です。一年生の時にまだ学校に慣れないうちに三人の部員と出会い、これから楽しい部活生活を送れると思っていたのですがなかなかうまくいきませんでした。二年生になった頃から意見が合わず言い合いになったり、全員そろわなくなったりだったのでそのたんびに二時間ほど話し合いをしていました。その時に自分の悪いところも見つかり、最終的には頑張ろうという結果に行きつくのですが三年生になった時には二人になっていました。しかし、そのことがあってからはほとんど毎日部活に参加して、辞めた人の分まで頑張っていこうと思いました。キャプテンとなり部活全体をまとめていかないといけないのですが、最後まで役に立ったかわからないまま引退をしてしまい後悔しています。なので少しでも私の心を晴らすためにここでたくさんの人に言葉を残そうと思います。

先生方、いつも忙しい時にでも部活に顔を出してくださいありがとうございます。

一、二年生、頑張って部活に来てくれるのにダラダラした私

たちの練習に付き合わせてごめんなさい。そしていろんな話を真剣に聞いてくれたり、おもしろくしてくれたりしてありがとうございます。ございました！これからもテニス頑張ってください。

あつきー！本当に感謝しています。初めてラケット握った所からあつきーの成長が見れて感動しました。部活が終わって話す機会が減ったけど一生忘れない思い出を作ってくれてありがとうございます。ございました！これからのあつきーの成長も見守らせてください！

ボクシング部

「三年間を振り返って」

農業経済科 三年 川瀬 克弥

私は、オリンピック選手や全国大会出場者を多数輩出している熊本農業高校ボクシング部で三年間一生懸命練習に励んできました。

三年間の部活は、あつという間でしたが、本当にいろいろなことがありました。一年生の時は全国大会で上位入賞された江崎先輩をはじめ、多くの先輩方にご指導していただき技術はもちろんのこと、心身ともに大きく成長することができました。二年生になると、自分達が先輩になり、キャプテンを務めることで、チームをまとめることの大変さや仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。キャプテンを務めた一年間は大変なことも

多くありましたが、他ではできない特別な経験で今まで本当に良かったと思っています。三年生の時は、新型コロナウイルスの影響で大会はすべて中止となり、全国大会で三位入賞という目標は達成できずとても悔しい思いをしました。大学進学後は、気持ちを切り替え、高い目標に向け、努力します。

三年間ボクシングを頑張れたのは、共に練習してきた部活の仲間や多くの方の応援、ご指導があったからです。この感謝の気持ちはこれからも決して忘れません。そして後輩にも、熊本農業高校ボクシング部はたくさんの方の支えがあつてこそ活動できるということ、毎日ボクシングができる喜びを忘れず、日々の練習を頑張つてほしいです。

陸上部

「部活の振り返りと今後どうあつてほしいか」

農業経済科 三年 井上 藍夢

私は三年間陸上部に所属し、楽しく充実した日々を送ることができました。部内では、個々に部員が自己研鑽に励んでいました。その中でも周りに配慮するという点が陸上部の良さであり、強みでもあります。個々の得意な技術面の共有やアドバイス、また、手の空いている者が率先して動くなど、例を挙げるときりがありません。このような環境下での練習だったので、練習に身が入りやすく、部活動は毎日の楽しみでもありました。三年間の部活

動を通して、大会での記録こそ残すことは叶いませんでしたが、日々、自分の記録と闘う事だけに集中することができました。何度も自己ベストを更新することもできました。三年間挫折せずに陸上を続けることができたのは、後輩や顧問の先生方が居てくれたからこそなので非常に感謝しています。

今後、本校の陸上部には、今まで通り周りに気を配れる部活動であって欲しいと思います。個人として大会記録や自己ベスト更新に励むことはもちろん、自分だけではなく周りにも目を向け、部員同士で時に助け合い、切磋琢磨し合うような部活動であって欲しいです。

男子バドミントン部

農業経済科 三年 梨田 愛斗

私は、高校生になってから初めて本格的な部活動を体験しました。中学の時には部活動は何もしておらず、高校の部活動についていけるか不安でしたが、先輩や同級生の支えもあってからか、不安がなくなり、さらにみんなのおかげで大きく成長することができました。また、バドミントン部主将を任された時にも、不安はありましたが周りのおかげで助けられました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により部活動の後半は中止になり、高校生最後の大会である高校総体も中止となりました。みんな楽しみにしていた分、悲しみが大きかったです。先生方

が代替大会を設けて下さったり、日々の部活動に参加させてもらったりと、色々なところで助けてもらい感謝しています。

私が主将としてできたことは少なく、申し訳ない気持ちもあります。それでも信じてついてきてくれたみんなにありがとうと伝えたいです。「ありがとう。」

女子バドミントン部

「後輩へ」

生活科 三年 津留 花夢

私は中学校で副キャプテン、高校でキャプテンを務め、支える側もまとめる側も経験しました。先を見通して指示を出すだけでなく、部員一人一人の意見を受けとめ、それを上手に伝えていく大変さを実感しました。それぞれの個性を持った十四人で活動をするため、意見の食い違いも起き、皆にはたくさん我慢をさせたことと思います。キャプテンという役目は、こんなにも難しく、周りの支え無しではとても乗り越えることはできませんでした。また、今年は新型コロナウイルスにより高校総体に出場できなかったことが本当に悔しいです。三年生にとっては最後の試合で力を発揮できずに終わってしまったのは残念でしたが、その分今まで当たり前前に練習ができていたことがとても貴重な時間だったのだと気付くことができました。戦う相手やペアがいるから大好きなバドミントンができ、改めて仲間のありがたさを感じました。

そして、頼り無い私に最後までついてきてくれたお陰で無事役目を終えることができ、感謝しています。これから後輩達は様々な困難に立ち向かうことがあると思います。でも、一人では解決が難しい時は、誰かにたくさん頼って支え合ってほしいです。皆には一回一回の練習を全力で行い、後悔のないよう願っています。きつい時は、あの練習を着てね。頑張ってください。応援しています。

ハンドボール部

「三年間の活動を振り返って」

食品工業科 三年 清田 大智

私たちハンドボール部は経験者が一人もおらず三年生の先輩が引退した後、一年生だけで活動していました。自分たちでは何をしたらいいのかわからず、練習も楽な方へ逃げて、そのたびに先生やコーチにたくさん怒られました。

二年生になりハンドボールについて少しわかるようになり、自分たちで考えて動けるようになりました。後輩もたくさん入ってきてくれていろんな練習が出来るようになりました。でも一年生の時に楽な練習しかしてこなかったので急に変わることが出来ずに自分たちに後輩が付いてきてくれず対立をしてしました。そこで何度も話し合い、お互いに理解して再スタートをしました。三年生になってみんなで力を合わせて頑張っていこうとして

いた頃、コロナでいつも通りの活動が出来なくなってしまいました。三カ月の休校期間があり、年に数回しかない大会にも出られなくなり、三年生の中には一度も試合が出来ないまま引退した部員もいました。だから後輩のみんなにはいつ終わってもいいように全力で取り組んでもらいたいです。

卓球部

「卓球部を振り返って」

農業土木科 三年 山中 秀俊

私は卓球部の活動を通して、話し合って行動する力をつけることができたと思います。中学の頃から卓球をしていたので、高校でもやりたいと思いい卓球部に入りました。先輩たちが明るく、楽しく練習をすることができました。その反面、練習は先輩たちに頼りきりなところがありました。

二年生になり、先輩たちが引退すると同時に私が部長になりました。しかし、人をまとめる立場になったのは初めてのことで、練習中に本当に部をまとめることができているのか、自分で練習の内容を決めてよいのかと不安になることがありました。そこで、練習中に何の練習をしたいのか、何が必要かを話し合い、自分たちで判断して練習に取り組みました。少ない人数だからできたことだと思います。前より効率のよい練習ができ、話し合う大切さを学ぶことができました。三年間、特に目立った活

躍はできませんでしたが、部活動を続けることができてよかったと思います。

現在私は、公務員に合格できるよう勉強に励んでいます。大変でくじけそうになりますが、三年間部活を続けてきたように根気強く取り組みたいです。また就職した際は、練習で身に付けた話しあう力を活かし、周りの意見を聞きつつ自分ですべきことを判断して行動していきたいです。

馬術部

農業経済科 三年 門岡 照英

私は馬術部に入り、とても充実した三年間を過ごすことができました。

そもそも私は初めから馬術部に入ろうと思っただけではありませんでした。実は母からの勧めで、「なんや馬術部って！」と興味を持ち、見学に行きました。そこで「馬術部すげえ！」と感動し入部を決めました。

入部当初はどれだけ馬に乗っても上達できず、落馬も数えきれないほど経験しました。それでも、自分が一番下手だとわかっていたからこそ頑張ることができました。正直、今までもこれからこんないきついことは人生において無いと思うくらいでした。私はそれほど頑張った自信がそこにはあります。その結果、二年時に全国大会（インターハイ）にスタメン出場し先輩方とともに

戦い、三位という成績を残すことができました。その時は言葉に表せないほどの喜びと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして三年時には高校総体代替大会で団体優勝することができました。

このような経験をした私から後輩達に言えることは、「馬に学ぶ姿勢を忘れない」ということです。そしてこれからも馬や周りの方々に感謝して頑張ってほしいと思います。

剣道部

「明るく、楽しく、元気よく」

園芸・果樹科 三年 石本 啓汰

私が熊農剣道部で学んだことは、二つあります。一つ目は、自主性です。私たち剣道部は「やらされる剣道」ではなく「自分たちで考える剣道」を稽古に取り入れています。このような稽古を取り入れる事で、先輩や後輩、先生方とのコミュニケーションを取ることでも信頼も強くなりました。信頼が強くなることでチームが一丸となり、目標に向けて一生懸命頑張ることができました。二つ目は感謝をすることです。剣道ができる場所、稽古をつけてくださる先生方、試合の応援をしてくれる保護者、多くの先生方の支えがあって私たちは剣道をすることができました。なので、支えてくださっている方々のために、私たちは最高の試合ができるように稽古をしています。しかし、今年度は、新型コロナウイルス

ルス関係で、高校総体や玉竜旗をはじめ、多くの大会が中止になりました。また、学校は休校になり有意義に剣道ができなかったです。「当たり前前に剣道ができる」ということに感謝をする大切さをより一層、感じました。私にとつてのこの三年間は、とても濃く、楽しかったです。今の部員は、少人数ですがチーム一丸となつて頑張り、稽古に励んで下さい。そして、熊農剣道部をもっと盛り上げて下さい。私は今後も心の底から応援しています。

南園太鼓部

「三年間の振り返り」

畜産科 三年 北里 隆真

私達南園太鼓部は、三年生六人、二年生五人、一年生五人の計十六人で活動しています。

コロナの感染予防対策のため演奏する機会はあまりありませんが、週三日の練習では、いつもにぎやかに活動しています。

部員が少ない分一人一人が十分な練習を行うことができ、共に教え合えることができます。また、練習場所は前庭であるため天候に左右されやすく、太鼓が打てる環境としては良いとは言えませんが、部分のチームワークで今日までやっていくことができました。

昨年度では、現在、流行している新型コロナウイルスのため学校行事や、地域のイベント事などで太鼓をたたく機会はありませ

んでしたが、コロナが落ち着き、太鼓の演奏ができる日まで日々練習に励んでいます。

この三年間で私は、人に教えることの難しさと、部員のみんなをまとめる難しさを知りました。その事でとても頭を抱えたこともありましたが、教える手助けをしてくれた同級生と一生懸命覚えようとしてくれる後輩に恵まれ、とてもいい思い出を作ることができました。南園太鼓部として活動できたことと、部活動内での人達に出会えてとても良かったです。この経験を活かし、進学先でも頑張っていけます。

機械部

「今年の活動と今後」

畜産科 三年 魚山 七未

新年度に入り、コロナの影響により部活動紹介などがなく一年生が入ってくれるか不安でしたが、一人入部してくれて、三年生三人、二年生二人、一年生一人と少ない人数ではありますが、六人で部活をスタートすることができました。

主な活動は、トラクターの運転やエンジンの分解組み立て、アーク溶接などです。三年生で部長となり、一年生に教える立場となったため教えることの難しさを知りました。私がどう説明したらいいかわからない所などは、二年生が一年生に教えてくれました。

人数が少なくなってきたので、活動する日数が少なくなってきました。来年度は一・二年生を中心に入学してくれたりと思えます。そして活気のある部活にして、トラクターやローダー、小型建機などの運転を行い、アーク溶接や、エンジンの仕組みなどを理解して農業機械に対しての技術の高昇をして欲しいです。また、農業機械部は、将来農業をする人や、農業関連に就職する人には、とても勉強になる部なのでぜひ入学してください。

パソコン部

「部長としての反省」

農業経済科 三年 時田 航太郎

私は、二年生の後半から今までパソコン部の部長として活動してきました。この一年間で良いことやこれから期待ができることもあれば、変えたくても変えられない部分もありました。

まず、変えたくても変えられなかったことは「幽霊部員」の減少です。多くの部員が所属しているものの毎年半数以上が幽霊部員となってしまう。改善策を考えたりしたもの結局見つかることができませんでした。これに関しては顧問の先生方にも申し訳ないと思っています。

逆に、今度期待していることもあります。それは、他学科の生徒が増えてきていることです。パソコンは経済科がメインとなつて扱っているのでパソコン部は経済科の部活というイメージが

定着してしまっている中で、他学科の生徒がとて少なかったです。しかし今年の部編成で他学科の生徒がたくさん入学してくれました。これからは他学科の生徒が入学してくれることを願っています。

この一年間、部長としてたくさんのことを学ばせていただきました。次の部長にも頑張ってもらいたいです。

英語部

「活動を振り返って」

農業経済科 三年 田尻 裕輝

英語部では、一月に行われるスキットコンテストに出ることを目標に火曜日と木曜日の週二回の活動を行っています。主な活動はA L Tの先生との英会話、英検取得に向けての勉強とスキットコンテストのシナリオ作成等です。

A L Tの先生との英会話については、私は前任のビラル先生としか会話をしていませんでしたが、先生の休日の過ごし方や日本の観光地のどこに行ったか等の日常会話を中心に会話してきました。私は英会話が苦手な、今もそれに変わりありませんが、顧問の先生に翻訳していただいたので助かりました。このような理由で、英会話は少しだけ得意になりました。

次は、スキットコンテストについてです。スキットコンテストとは、二、三人の組で、英語で三分間の寸劇をするものです。

このスキットコンテストのシナリオを英訳することで英語力がかなり向上しました。また、本番のために、シナリオを時間内に終わることが大変で、シナリオを削ったりすることで時間短縮をしました。このようにして、うまく実演できたときの達成感は忘れられません。私は英語部の活動を通して英語力と積極性が身につきました。

写真部

「写真部でよかった」

生活科 三年 鶴田 まなか

写真部での活動はとても楽しい活動でした。私は写真部に入部するまで、写真を撮ったことがありませんでした。先輩方の後をおいかけて、慣れない一眼レフカメラの扱いに少し苦戦しながら、たくさん写真を撮りました。

体育祭、クラスマッチ、南園祭など、たくさんさんの活動をしました。特に思い出に残っているのは前期研修会で、動植物園に写真を撮りに行った時のことです。動物を撮るのは思っていたより難しく、さらにその日の天気は雨だったので、たくさん工夫しながら、自分なりの良い作品を撮ろうと何枚も写真を撮りました。その日の活動は、私や他の部員にとっても、いい経験になったと思います。

私は写真部に入部してから、普段見る景色が違って見えます。

空をよく見上げるようになったし、色々な物に目を向けるようになりました。

これからの後輩達にも、それを感じてほしいと思っています。そしてもっと写真のことを好きになって良い作品をたくさん撮ってほしいです。

書道部

「書道部の活動を振り返って」

畜産科 三年 清水 綾

書道部は三年生三人、一年生十一人で活動してきました。主な活動は、南園祭の展示、書道の大会への出品、賞状の名前記入などです。顧問の先生は、鉄島先生と鶴田先生です。先生方には書道展のことをいただいたり、指導をしていただいたりしました。当初は三年生の三人だけで活動していました。その中でお互いの字を見てアドバイスし、それぞれが成長することができました。今年から一年生が入ってくれたことで、指導する立場となり、様々なことを学ぶことができました。それは、相手に分かりやすく伝えるための表現力とコミュニケーション力です。また、一枚一枚の作品を清書と思い、集中して書くことで集中力を高めることができました。そのような中、新型コロナウイルス感染症の影響で書道展が中止になり、頑張って練習をしてきたのでとても残念でした。しかし、南園祭は実施され作品を展示することができ

たのでとても嬉しかったです。

来年は、たくさんの書道展に出品できるように、部員全員で協力して頑張つてほしいです。

吹奏楽部

「私の宝物」

生活科 三年 上村 麗奈

吹奏楽部は、三年生二名、二年生十名、一年生七名で高木先生と古閑先生の温かいご指導の下、「周りから愛される部活動」をモットーに活動しています。

私が部長になった時、部活をまとめ、引っ張っていけるかとても不安でしたが、いつも周りを見て素早く行動でき、頼もしい後輩達と、優しくサポートしていただいた先生方のおかげで部長を務めることができました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で例年通りの活動はできませんでしたが、吹奏楽コンクールの代替大会として開催された熊本県吹奏楽大会吹奏楽部門に出場し、ゴールド金賞を受賞することができました。限られた時間の中で自分のベストをつくし毎日練習に励んでいたのが部員一同とても嬉しかったです。

また、九月に開催した熊農単独の演奏会では、コロナの影響で若干規制はかかっていますがお客様に楽しんで頂けるにはどうしたらいいのか試行錯誤し、部員みんなの力で成功させることができました。

この三年間、沢山の仲間と切磋琢磨し、音を奏で、時にはぶつかり気持ちバラバラになった時もありましたが、大好きな仲間と先生と大好きな音楽ができて幸せでした。

吹奏楽部で過ごした三年間は私の宝物です。

茶道部

「部活動を振り返って」

生活科 三年 玉置 若菜

私は三年間茶道部の活動を通して、たくさん学ぶことができました。

私は最初、茶道についての知識が全くないゼロからのスタートでした。それから、練習を重ねるごとに茶道部の一つ一つの動作の大切さや礼儀作法などが身に付きました。お茶一つを点てるのにも、お客様に奇麗に見えるように姿勢や動作にも気を付けながら行わなければいけないなど、人に対して思いやりの心をもってお茶を点てる必要だと学びました。

南園祭では、茶道部としてお点前を披露しお茶出しを行ってきました。お客様に前で自分たちの学んできたことを披露する数が少ない場なので、部員全員で協力をし、お客様にも喜んでいただき嬉しかったです。しかし、今年はこのような機会がなかったため、来年は行えるようになればと思います。

私は部長として、何も部長らしいことはできませんでしたが、

部員のみんなに支えてもらいとても楽しく部活動を行うことができました。ありがとうございました。

美術部

「素晴らしい美術部」

生活科 三年 鶴田 まなか

私は、この熊本農業高校の美術部で活動できたことをとても嬉しく思います。

絵を描くことが大好きで美術部に入部して、石膏像を使ったデッサンなど、家ではできないことができるのがとても良い体験になりました。活動日だけでは満足できずに、活動日以外でも活動したこともありました。

南園祭のポスターや南窓の表紙などの仕事にチャレンジできることも良い経験になりました。テーマに沿った絵を描くことは思ったより難しいことでした。しかし、絵は難しいものほど描きあげた時の達成感が大きく、とても楽しいです。

最初は少なかった部員も、今ではたくさんの方の部員達とにぎやかに活動できるようになりました。今の後輩達に伝えたいことは、これからも絵を好きでいてほしいということです。そして、楽しく、自分のペースでたくさん作品を作ってほしいと思っています。そして体育祭の団画や南園祭の作品展などでの活躍を期待しています。

編集後記

今年も南窓お疲れ様でした。皆さんの協力でとても良いものができました。これからは大変なことのほうが多いと思いますが、そんな時は南窓を読んで元気になりましょう。今までありがとうございました。

生徒会文化委員長

農業土木科 三年 石原 颯人

発行日 令和三年三月一日

発行者 熊本農業高等学校 生徒会

表紙イラスト 寺田 結理（生活科二年）